



# 障害者の労働・生活をめぐる課題 —精神障害者、発達障害者を中心に—

保健福祉学部 人間福祉学科

准教授 江本 純子（えもと じゅんこ）

博士（社会学）・精神保健福祉士・社会福祉士

連絡先 県立広島大学 三原キャンパス 2516号室  
Tel 0848-60-1120（代）  
E-mail emoto@pu-hiroshima.ac.jp

専門分野： 障害者雇用政策 社会福祉 精神保健福祉  
福祉政策 ソーシャルワーク

キーワード： 障害者雇用、精神障害、発達障害、就労支援、  
ディーセントワーク メンタルヘルス SST  
ソーシャルモデル 職場の人権、哲学対話、  
プレイバックシアター（即興劇）

## ● 現在の研究について

ひとは誰も、自らの望む地域で、あたりまえの暮らしをする権利を持っています。ところが、人によっては、ごくふつうの生活することさえ制限を受ける場合もあります。特に、精神障害や発達障害を抱えた方が、一般の事業所で働こうとすると、障壁が少なくありません。しかし、障害の有無にかかわらず、すべての人が個人の尊厳にふさわしい生活ができることは、社会全体にとって重要です。

こうした観点から、障害者の労働を切り口にして、今日社会で生じている様々な問題の所在と背景を明らかにし、具体的な援助の方法から政策の課題まで包括的に研究しています。そして、この研究によって、すべての人が安心し、生き生きと暮らせる社会の実現を目指しています。

具体的には、以下を中心に研究しています。

- ① さまざまな障害をお持ちの方が一般の労働市場で働くための政策と具体的な支援の方法。
- ② 社会的ひきこもりの状況にある方が地域で安心して暮らすための社会のしくみと具体的な支援の方法。
- ③ プレイバックシアター（即興劇）を活用した支援の方法。

## ● 今後進めていきたい研究について

今後の研究は、以下3つの柱で考えています。

- ① 精神保健・福祉に関するニーズをお持ちの方すべてが生活しやすい社会のしくみと支援方法。
- ② すべての人が安心して働くことができるような労働のしくみ（政策から支援方法まで）。
- ③ プレイバックシアター（即興劇）を活用した支援の実践方法。
- ④ 社会福祉、精神保健福祉にかかわる様々なことの哲学的考察及び哲学対話。

## ● 地域・社会と連携して進めたい内容

これまでの研究と活動を活かし、地域・社会では、次のような連携をして進めたいと思います。

- ① 障害を抱えつつ働いておられる方及び家族、雇用主の方のための様々な支援。
- ② 不登校またはひきこもりの方及び家族とそのグループのための支援。
- ③ 「暮らし」や「メンタルヘルス」等に関する様々なことを自由に表現したり、論じる集まり（プレイバックシアター、福祉カフェ、精神保健福祉カフェ）。

## ● これまでの連携実績

これまでは、行政機関、各種団体、企業等と連携し、以下のような活動を行いました。

- ① 精神障害・発達障害を持つ当事者または家族のグループを対象とした就労支援や生活支援。
- ② 障害者就労支援や政策に関する講座・研修講師
- ③ プレイバックシアター（即興劇）を活用した地域福祉支援